

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒104-0033 東京都中央区新川 2-27-2
TEL : 03-5117-0270(代表)
www.ms-ad-hd.com

立ちどまらない保険。

MS&AD
INSURANCE GROUP

2020年1月21日

～SDGs 達成の基盤となる自然資本の持続可能な利活用と企業が果たすべき役割～

「2030 年に向けた社会変革と企業経営」シンポジウムを開催します

MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社（取締役社長 グループCEO：柄澤 康喜）は、生物多様性にとって重要な自然資本の捉え方と企業が果たすべき役割をテーマとした「2030年に向けた社会変革と企業経営」シンポジウムを開催します。

本年10月には中国の昆明にて生物多様性条約第15回締約国会議（CBD-COP15）が開催され、ポスト愛知目標として、2030年の新たな目標に向けた「自然と共生する社会」の実現を目指す議論に世界が注目しています。また、生物多様性に関する取り組みは、近年注目されているSDGsやESG投資、グリーンインフラ、生態系を活用した防災・減災など持続可能な社会の実現に欠かすことのできない基盤としての役割を担っています。

本シンポジウムでは、企業を取り巻く生物多様性の環境が大きく変わる今、経営の視点から生物多様性を捉え、さまざまな企業活動に取り込むことで、企業の持続的成長につながるシナリオを模索します。グローバルな視点から、人間と自然との新たな関係構築を踏まえ、あるべき企業の姿と目指すべき社会像の実現を考える契機とします。

「2030年に向けた社会変革と企業経営」シンポジウムの概要

日時：2020年3月4日（水） 13:30～17:30

場所：三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール（千代田区神田駿河台3-9）

プログラム：

＜第1部＞ 基調講演（13:40～14:40）

- ・EUと欧州企業の動向と日本の企業がとるべき行動
- ・自然資本を活用した防災・減災－グリーンインフラの世界的動向

＜第2部＞ 企業の具体的な取り組みに関する3つの分科会（14:55～16:40）

	分科会 1 	分科会 2 	分科会 3 
テーマ	レジリエントなまちづくりのためのグリーンインフラの実装	森林破壊ゼロはこれからの企業の常識になるか？	市民科学が創出する身近な自然の価値
内容	気候変動によって気象災害が激甚化する中、自然資本を利用して社会や経済のレジリエンスを向上させるグリーンインフラが注目され始めています。グリーンインフラを実装するためには、どのような課題があり、それを突破するためにどのようなパートナーシップが必要となるのか。国、自治体、金融セクターから論点を投げかけます。	COP15で2021年から2030年までの10年間の目標を決めるべく、現在その準備が進んでいます。定量的なものにしようという声が多く、中でもサプライチェーンも含めて森林破壊をゼロにするという目標はかなり現実視されています。既に取り組んでいる企業の事例をもとに、なぜ必要なのか、どう達成するかを考えます。	身近な自然の価値は、近くに住む人や活動している人が一番価値を享受し、自然の状態を把握しています。都市周辺の生態系を保全・再生するには、多様な主体が協働し、市民と企業が一緒になって科学することで、学びを通じた新たな価値創出が大切です。企業やNPOによる参加型の環境保全活動を市民科学の目線で考えます。

＜第3部＞ 分科会のまとめ（16:55～17:30）

主催：MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社

後援：環境省、東京都、千代田区、経団連自然保護協議会

協力：一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）、MS & ADインターリスク総研株式会社

申込み：右記の URL からお申込みください。 <https://ms-seminar.smktg.jp/public/seminar/view/2034>

添付別紙：開催案内チラシ

また、当社グループでは、企業が生物多様性の取組みを推進するための情報提供の機会として、2007年から「企業が語るいきものがたり」を毎年開催しており、13回目となる今回は「グリーンインフラ」、「森林破壊ゼロ」、「市民科学が創出する身近な自然の価値」についての分科会も用意し、議論を行います。

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社について

MS&ADホールディングスは、三井住友海上火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社などのグループ保険会社を有する保険持株会社です。グローバル市場での業界トップ水準の保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、「活力ある社会の発展と地球の健やかな未来」を実現する価値創造企業として、世界48の国・地域で事業展開しています。未来のあるべき姿を目指し、ステークホルダーの皆さまと、社会的な価値の共創に取り組んでいます。

www.ms-ad-hd.com

以 上

2030年に向けた社会変革と企業経営

～SDGs達成の基盤となる自然資本の持続可能な利活用と企業が果たすべき役割～

MS&ADインシュアランスグループが主催する本シンポジウムは、企業が生物多様性の取組みを推進していくための機会として毎年開催し、今回で13回目を迎えました。今年は、2010年にCOP10で採択された愛知目標のターゲットイヤーであり、10月には中国で開催されるCOP15において2030年目標が採択される予定です。欧州の大企業は、気候危機の取組は1.5℃目標をはじめ明確な枠組が定まり実行段階に入ったとし、生物多様性保全にも軸足を移して活発な動きを見せています。

本シンポジウムでは、こうした動向も踏まえ、企業がいかに取り組むかを議論します。また気候変動により激甚化する風水害も視野に入れ、防災・減災の観点から重要性が叫ばれている自然資本を活用したグリーンインフラの世界的動向も紹介します。分科会では、グリーンインフラのほか森林破壊ゼロ、新しい視点としての市民科学の3テーマで論議します。皆さまの生物多様性の取組みにお役に立つことができれば幸いです。

プログラム

※都合により一部変更する場合があります

2020年3月4日(水) 13:30～17:30 (開場13:00)

三井住友海上駿河台ビル 1階大ホール (千代田区神田駿河台3-9)

第一部 (13:40～14:40) 基調講演

『EUと欧州企業の動向と日本の企業がとるべき行動』

株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役 足立 直樹氏

『自然資本を活用した防災・減災－グリーンインフラの世界的動向』

IUCN(国際自然保護連合)日本リエゾンオフィス コーディネーター/大正大学 地域構想研究所教授 古田 尚也氏

第二部 (14:55～16:40) 分科会 ※関心のあるテーマの分科会にご参加下さい

	分科会 1	分科会 2	分科会 3
テーマ	レジリエントなまちづくりのための グリーンインフラの実装	森林破壊ゼロはこれからの 企業の常識になるか？	市民科学が創出する 身近な自然の価値
コーディネーター	MS&ADインターリスク総研 原口 真 氏	レスポンスアビリティ 足立 直樹 氏	兵庫県立人と自然の博物館 三橋 弘宗 氏
パネリスト	国土交通省 一言 太郎 氏 東京都環境局 川道 克祥 氏 日本政策投資銀行 北栄 階一 氏	WWFジャパン 古澤 千明 氏 マクドナルド 岩井 正人 氏 味の素 太田 史生 氏 ブリヂストン 稲継 明宏 氏	グリーンコネクション東京 佐藤 留美 氏 日本自然保護協会 大野 正人 氏 リコー 阿部 裕行 氏
	気候変動によって気象災害が激甚化する中、自然資本を利用して社会や経済のレジリエンスを向上させるグリーンインフラが注目され始めている。グリーンインフラを実装するためには、どういった課題があり、それを突破するためにどのようなパートナーシップが必要となるのか。国、自治体、金融セクターから、論点を投げかけます。	COP15で2021年から2030年までの10年間の目標を決めるべく、現在その準備が進んでいます。定量的なものにしようという声が多く、中でもサプライチェーンも含めて森林破壊をゼロにするという目標はかなり現実視されています。既に取り組んでいる企業の事例をもとに、なぜ必要なのか、どう達成するかを考えます。	身近な自然の価値は、近くに住む人や活動している人が一番価値を享受し、自然の状態を把握されています。都市周辺の生態系を保全・再生するには、多様な主体が協働し、市民と企業が一緒になって科学することで、学びを通じた新たな価値創出が大切です。企業やNPOによる参加型の環境保全活動を市民科学の目線で考えたいと思います。

第三部 (16:55～17:30) 各分科会からの報告とまとめ

【コーディネーター】株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役 足立 直樹氏

■ 開催概要

- 【日 時】 2020年3月4日（水） 13:30～17:30（開場13:00～）
- 【会 場】 三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール（千代田区神田駿河台3-9）
最寄駅：J R「御茶ノ水駅」徒歩5分、千代田線「新御茶ノ水駅」・都営新宿線「小川町駅」
B3b 出口徒歩30秒、丸の内線「御茶ノ水駅」徒歩6分
地 図：https://www.ms-ins.com/company/aboutus/outline/map_surugadai.html
※ご来場の際は公共交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- 【定 員】 200名（応募者多数の場合は先着順。お申し込みの方には参加可否のご返信をメールお送りします）
- 【対象者】 ・企業のC S Rサステナビリティ推進・環境・I R部門、事業部門、調達部門、総務・不動産部門の方
・生物多様性に関係した活動をされている企業・金融機関・N G O / N P O ・行政の方
・生物多様性に興味を持たれている一般の方
- 【参加費】 無料
- 【主 催】 M S & A D インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
- 【後 援】 環境省、東京都、千代田区、経団連自然保護協議会
- 【特別協力】 企業と生物多様性イニシアティブ（J B I B）、M S & A D インターリスク総研株式会社

本シンポジウムは、国内で生物多様性保全に関心の高い企業（現在44社）の集まりである「企業と生物多様性イニシアティブ（J B I B）」の全面的なご協力のもと企画運営しています。

■ お申込方法

- 以下U R Lからお申し込みください。
<https://ms-seminar.smktg.jp/public/seminar/view/2034>
MS&ADインシュアランス グループ セミナーインフォメーション>セミナー一覧「企業が語るいきものがたり」> 申込
- ネット環境のない方は、以下お問合せ連絡先まで、お電話にてお申し込みください。
- 申込締切 2月25日（火）
※お申込みが定員（200名）を超過した場合は先着順とさせていただきます。
※第二部では会場等の都合でご希望の分科会に参加できない場合もございます。予めご了承ください。

参加申込時にお預かりした個人情報につきましては、弊社の情報管理規程等に基づき、安全かつ適正に管理させていただきます。

お問合わせ
連絡先

M S & A D インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
総合企画部・サステナビリティ推進室
「生物多様性シンポジウム」事務局（担当：唐澤、富田）行
TEL：03-5117-0202

